

News Release

2017年1月12日
株式会社日立製作所

アンサルドSTS社がイタリアのミラノー・ジェノヴァ間を結ぶ 高速・大量輸送プロジェクトに関する信号・運行管理システムを受注

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)の鉄道システム事業におけるグループ会社であるアンサルド STS 社(CEO:Andy Barr)やアルストム社、アルピック社、シルティ社の 4 社で構成されるコンソーシアムは、イタリアのゼネコンであるコンソルツィオ・コレガメンティ・インテグラータ・ヴェローチ (Consorzio Collegamenti Integrati Veloci)とミラノー・ジェノヴァ間を結ぶ高速・大量輸送プロジェクトに関する委託契約を締結しました。

このプロジェクトのうち、アンサルド STS 社は、トルトナー・ジェノヴァ間を結ぶ路線向けの信号・運行管理システム全般を担当します。具体的には、信号設備、運行管理システム、電力供給システム、トンネル内安全監視システムを納入します。受注金額は 1 億 7,460 万ユーロ(約 210 億円)です。

アンサルド STS 社は、旅客・貨物輸送用信号設備および鉄道統合システム分野でのグローバルリーダーとして、鉄道の運行・制御に不可欠な信号システムやコンポーネント、鉄道運行管理システムの設計・製造などを行っています。アンサルド STS 社は、最先端の鉄道システム技術を開発し、供給していきます。

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
